製品名: RIAM ウサギポリクローナル抗体
カタログ番号: APRab17141
研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	73kDa

抗原情報

遺伝子名	APBB1IP
別名	APBB1IP; PREL1; RARP1; RIAM; Amyloid beta A4 precursor protein-binding family B member 1-interacting protein; APBB1-interacting protein 1; Proline-rich EVH1 ligand 1; PREL-1; Proline-rich protein 73; Rap1-GTP-interacting adapter molecule; R
遺伝子 ID	54518.0
SwissProt ID	Q7Z5R6
免疫原	RIAM 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲：430-510

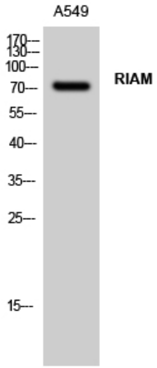
背景

ドメイン:2 つの Pro に富む領域は、AP1 転写活性の抑制に必要です。,機能:Ras 活性化からアクチン細胞骨格リモデリングへのシグナル伝達に機能すると思われます。AP1 および SRE を介してインスリン誘導プロモーター活性を抑制します。 Rap1 誘導接着を媒介します。,誘導:オールトランスレチノイン酸によって誘導されます。,類似性:MRL ファミリーに属します。,類似性:1 つの PH ドメインを含みます。,類似性:1 つの Ras 関連ドメインを含みます。,細胞内局在:ラメリポディアの先端と接着斑では ENA/VASP タンパク質と共局在し、先端では F アクチンと共局在します。膜表面では、PH ドメインを介して、イノシトールリン酸、PtdIns(5)P および PtdIns(3)P と優先的に会合します。この結合は、RA ドメインが Ras-GTPase と効率的に相互作用するために必要であると考えられる。,サブユニット:N 末端の Pro-rich 領域を介して、APBB1 の WW ドメインと相互作用する。RAP1A、PFN1、VASP、ENAH と相互作用する。,組織特異性:胸腺、脾臓、リンパ節、骨髄、末梢白血球で高発現し、広く発現する。,ドメイン:2 つの Pro-rich 領域は、AP1 転写活性の抑制に必要である。,機能:Ras 活性化からアクチン細胞骨格リモデリングへのシグナル伝達に関与すると考えられる。AP1 および SRE を介してインスリン誘導プロモーター活性を抑制する。 Rap1 誘導接着を媒介する。,誘導：オールトランスレチノイン酸によって誘導される。,類似性：MRL ファミリーに属する。,類似性：1 つの PH ドメインを含む。,類似性：1 つの Ras 関連ドメインを含む。,細胞内局在：ラメリポディアの先端および接着斑では ENA/VASP タンパク質と共局在し、先端では F-アクチンと共局在する。膜表面では、PH ドメインを介して、イノシトールリン酸、PtdIns(5)P および PtdIns(3)P と優先的に結合します。この結合は、RA ドメインと Ras-GTPase の効率的な相互作用に必要であると考えられます。,サブユニット：N 末端の Pro-rich 領域を介して、APBB1 の WW ドメインと相互作用します。 RAP1A、PFN1、VASP、ENAH と相互作用します。,組織特異性:胸腺、脾臓、リンパ節、骨髄、末梢白血球で高発現し、広く発現しています。,

研究分野

B 細胞抗原

画像データ



RIAM ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析